

1 大きな公共を担う活力ある地域社会づくり

○3年間の取組と成果の総括

・中間支援組織「都島区まちづくりセンター」を設置し、つながり拡充に向けた地域・企業・NPO・施設や地域の子どもとの交流会やワークショップ、ブログ講座などを開催した。全9地域で地域活動協議会が形成され、各地域団体・企業・NPOなど多様な活動主体による地域運営が始まっている。
 ・各地域で補助金・会計事務の適正な執行に向けた説明会やホームページ等の開設支援など、透明性の確保や民主的な運営に向けた支援を進め、自らの地域のことは自らの地域が決めるという意識のもと、豊かなコミュニティ形成や自律的な組織運営に向けて進捗している。
 ・市政改革の重要課題である「地域活動の担い手拡大」など個々の取組は進捗したもの、成果目標は未達成となっており、中長期の継続した取組が必要である。

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
1 (1) 豊かなコミュニティづくり 【目標(A)】住んでいる地域で、日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合平成26年度までに全区で60%以上	①	・区民相互のつながりのため、企画・運営に区民等が参画する区民まつりを実施 ・新たな担い手の発掘のため、出展者について一部公募を実施	A	19.8%	33.0%	②	・区民まつりの新規参画者は増加したものの、企画・運営等の担い手拡大へとつながるまでには至っていない。 ・地域活動協議会は形成されたが、協議会自体の認知度が低い。 ・新規参画者の増加を図りながら、区民まつりの企画・運営の担い手拡大へとつなげる仕組みを検討する。 ・地域活動協議会の組織力向上につながるよう積極的に情報発信を行い、各地域の特性に応じて活動支援を継続する。
	②	・区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル ・各地域の取組を広報誌に掲載 ・SNSを活用し、地域活動参加を促進 ・中間支援組織と連携し、ブログ講座を開催 ・中間支援組織と連携し、区役所庁舎内に地域活動協議会情報発信コーナーを設置し活動を周知	A				
	③	・中間支援組織と連携し、担い手拡大につながるような事業計画の策定について助言	A				
1 (2) ア 地域団体の活動の活性化の支援 【目標(A)】住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会が増えたと感じている区民の割合平成26年度までに全区で60%以上	②ア	・中間支援組織の紹介 ・中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 ・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 ・中間支援組織と連携し、ワークショップ等を開催	A	10.6%	17.7%	②	・地域活動協議会は形成されたが、協議会自体の認知度が低い。また若い世代など、より多くの参加者で運営される組織の確立が必要。 ・地域活動協議会の組織力向上につながるよう積極的に情報発信を行い、各地域の特性に応じて活動支援を継続する。 ・中間支援組織と連携し、担い手育成の講習会等の開催を継続していく。
	②イ	・区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル	A				
	②ウ	・中間支援組織の紹介 ・中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 ・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 ・運営委員会への出席 ・各地域の会議、行事、学習会、準備会へ出席 ・各地域で補助金、会計事務等の説明会を実施 ・中間支援組織と連携し、地域の若い担い手対象の講演会・ワークショップ等を開催 ・地域活動協議会とこれまで地域活動に関わりの薄かった大規模等集合住宅との情報共有体制を整備	A				
1 (2) イ 地域活動の担い手の拡大への支援 【目標(A)】地域活動を始めたいときにどうすればいいかなど地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合平成26年度までに全区で60%以上	①	・区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル ・各地域の取組を広報誌に掲載 ・SNSを活用し、地域活動参加を促進 ・中間支援組織と連携し、ブログ講座を開催 ・中間支援組織と連携し、区役所庁舎内に地域活動協議会情報発信コーナーを設置し活動を周知 ・地域、企業、NPO、施設等による交流会を開催	A	14.6%	24.3%	②	・地域活動協議会は形成されたが、担い手不足が大きな課題となっている。 ・区内全域で活動の認知度が低いため、積極的に情報発信を行っていく。
	②	・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発	A				
	③	・地域、企業、NPO、施設等による交流会を開催 ・地域活動協議会と地域の子どもとの交流会を開催 ・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 ・中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。
 【達成率】 実績値を目標値で除して算出。
 【評価区分の凡例】
 [取組の実施状況] A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
 [成果目標の達成状況] ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

<p>1 (3)ア 多様な主体のネットワーク拡充への支援</p> <p>【目標(A)】地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で60%以上</p>	①	<ul style="list-style-type: none"> 区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル 各地域の取組を広報誌に掲載 SNSを活用し、地域活動参加を促進 中間支援組織と連携し、ブログ講座を開催 中間支援組織と連携し、区役所庁舎内に地域活動協議会情報発信コーナーを設置し活動を周知 	A	17.5%	29.2%	②	<ul style="list-style-type: none"> 現在、町会などの地域団体が中心となっており、企業・NPOの参画が少ない。 各地域の特性に応じて、中間支援組織と連携して、交流会・ワークショップ等を開催し、相互交流の場を継続して提供する。 	
	②	<ul style="list-style-type: none"> 地域、企業、NPO、施設等による交流会を開催 	A					
<p>1 (3)イ 地域公共人材の充実への支援</p> <p>【目標(A)】地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で60%以上</p>	④	<ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織の紹介 中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 各地域の会議、行事へ出席 	A	6.2%	10.3%	②	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共人材の活用についての認知度が低く、発掘までに至っていない。 各地域の特性に応じた具体的な活動と地域公共人材とのマッチングを行い、有効活用していただく。 	
<p>1 (4)ア 地域活動協議会の形成に向けた支援</p> <p>【目標(A)】地域運営にさまざまな活動主体が参画し、会計をオープンにするなど、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上</p>	②ア	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動協議会は、平成25年度末までに全地域で形成済み 中間支援組織の紹介 中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 各地域の学習会、準備会へ出席 各地域で補助金、会計事務等の説明会を実施 中間支援組織と連携し、ワークショップを開催 区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル 	A	14.6%	18.3%	②	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動協議会について、組織体制は構築されたが、構成団体間の情報共有など横のつながり強化が課題である。また、部会が十分に機能していない。 地域活動協議会について、地域が一体となった運営について、役員だけでなく、地域活動協議会全体での共有化を図る。また、必要に応じて法人化に向けた支援を検討する。 	
	②イ	<ul style="list-style-type: none"> 区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル 各地域の取組を広報誌に掲載 SNSを活用し、地域活動参加を促進 中間支援組織と連携し、ブログ講座を開催 中間支援組織と連携し、区役所庁舎内に地域活動協議会情報発信コーナーを設置し活動を周知 地域、企業、NPO、施設等による交流会を開催 各地域へ活動補助金の説明 	A					
	②ウ	<ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織の紹介 中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 運営委員会の定例開催に向けた支援 各地域で補助金、会計事務等の説明会を実施 	A					
<p>1 (5)ア 多様な分野におけるコミュニティ・ビジネス化、ソーシャル・ビジネス化の支援</p> <p>【目標(A)】 a. コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを知っている市民の割合 平成26年度までに60%以上</p> <p>【目標(A)】 b. 市が関与したコミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの起案件数 平成26年度までに36件</p>	④	<ul style="list-style-type: none"> 他区の具体的事例を紹介 コミュニティ・ビジネス/ソーシャル・ビジネス講座を開催 	A	a	15.1%	25.2%	②	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス化できるものの抽出に至っていない。また、運営委員会やコミュニティ・ビジネス/ソーシャル・ビジネス講座において、地域活動協議会役員へ意義を説明したが、必要性の認知度が低い。 他地域の事例を情報収集する。 地域課題を発掘し、起業に向けて地域と協働していく。
				b	0件	—	—	

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。
【達成率】 実績値を目標値で除して算出。
【評価区分の凡例】
[取組の実施状況] A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
[成果目標の達成状況] ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

<p>1 (5)イ 本市の事務事業の社会的ビジネス化</p> <p>【目標(A)】社会的ビジネス化された市の事務事業 平成26年度までに24件</p>	④	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連絡会及び地域会議において、社会的ビジネス化が可能なものを紹介 	A	0件	—	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネス等財源確保の重要性について啓発を行い、認識向上に向けた取組が必要。 ・行政が関与したコミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの起業例を調査し、当区におけるビジネス化可能なものがないか、引き続き関係各局と調整を行う。
<p>1 (6) 中間支援組織の活用</p> <p>【目標(A)】中間支援組織による支援を必要とする団体のうち、適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合 平成26年度までに60%以上</p>	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織の紹介 ・中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 ・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 ・運営委員会への出席 ・各地域の会議、行事、学習会、準備会へ出席 ・各地域で補助金、会計事務等の説明会を実施 ・中間支援組織と連携し、地域の若い担い手対象の講演会・ワークショップを開催 	A	76.2%	127.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織は活用されているものの、地域の自律した運営には至っていない。 ・引き続き自律した運営に向けた支援を行う。 <p>①</p>

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。
【達成率】 実績値を目標値で除して算出。
【評価区分の凡例】
[取組の実施状況] A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
[成果目標の達成状況] ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2 自律した自治体型の区政運営

○3年間の取組と成果の総括

・多様な区民の意見やニーズを区政に反映し区民による区政の評価を行う仕組みづくりとして、フェイスブックなどSNSによる双方向コミュニケーションを強化するとともに、広報誌リニューアルのほか、自由参加型トークイベント「ぶっちゃけ！都島」、「区長タウンミーティング」など、幅広い世代とのコミュニケーションに力を入れた。また、区政会議では無作為抽出公募による委員も迎え、会議をユーストリーム配信するなどの工夫を図った。

・地域活動を支えるかなめとしての区役所づくりでは、都島区まちづくりセンターと連携して担い手対象のワークショップ等を開催するなど、地域の実情に応じた支援を行い、地域活動を支える基盤づくりができた。

・区民の安全・安心を担う総合拠点としての区役所づくりとして、区長就任後、安全・安心のまちづくりに重点的に取り組み、24区初となる「区合同防災訓練」を実施し、地域・企業・施設等と連携を強化した。

・成果目標を達成できなかった項目については、中長期の取組が必要であり、内容を見直しながら継続して取り組んでいく。

取組番号	取組内容	実施状況	成果目標の達成状況			課題と今後の方向性		
			26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分			
2 (1)ウ 公募区長による個性あふれる区政運営 【目標(A)】 a. 公募区長により、基礎自治に関して、特色ある施策・事業が展開されていると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上 【目標(A)】 b. 居住する区の区長の顔や名前を知っている区民の割合 平成26年度までに全区で60%以上	②	・区長就任後、安全・安心のまちづくりに重点的に取り組み、区政会議の意見を踏まえ「区合同防災訓練」を実施した。 ・三方を川に囲まれた区の特性を活かし、民間活力による水辺のまちづくりとして、「アクアスロン大会」等を誘致、未来の都島を担う人材育成として、グローバル時代に必要なコミュニケーション力を育成する「中学生海外WEB交流」などを実施した。 ・広報誌リニューアル、フェイスブック開設、自由参加型トークイベント「ぶっちゃけ！都島」開催など、若い世代など幅広い区民とのコミュニケーションを進めた。	A	a	20.8%	26.0%	②	・3年間の各取組では、幅広い世代へのアプローチに努めてきたが、個々の取組は進捗したもの、施策の認知度など成果指標につながらっていない。 ・中長期の継続した取組が必要だが、市政改革の重要課題でもある「地域活動の担い手拡大」も含め、若い世代などまちづくりに比較的関わりの少ない区民への情報発信などを引き続き進める。
	③	・広報誌の区長コーナー、フェイスブック等を活用し、情報を随時発信 ・区長が、区民のもとに直接お伺いし、施政方針などを説明する「区長タウンミーティング～龍生と話そう」を実施	A	b	36.0%	60.0%	②	
2 (2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり 【目標(A)】 多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上	①	・区民アンケートでは、実施方法を見直し、無作為抽出による1,500人を対象とするアンケートを実施 ・区長が、区民のもとに直接お伺いし、施政方針などを説明する「区長タウンミーティング～龍生と話そう」を実施	A		15.3%	19.1%	②	・実績数値が目標を大幅に下回っている。 ・中長期の取組が必要であるが、無作為抽出による区民アンケートなどで、サイレントマジョリティなど区民の意見・ニーズを把握し、施策に反映していく。
	②	・各事業でツイッターやフェイスブックなど、SNSによる双方向コミュニケーションの活性化を図り、若い世代など幅広い区民の意見やニーズの把握に努めた。 ・毎月発行する広報誌、ホームページなどで、行政サービスや地域活動などの情報をタイムリーに分かりやすく提供できるよう努めた。	A					
2 (2)イ 区民が区政運営に参画する仕組みづくり 【目標(A)】 a. 区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、計画段階から区民との対話や協働により進められていると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上 【目標(A)】 b. 区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、多様な区民による評価が区に届いていると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上	①	・区内の公益活動団体や公募、無作為抽出公募などで選定された構成員による区政会議を開催し、地域課題や取組について議論、ユーストリームで配信	A	a	13.9%	17.4%	②	・実績数値が目標を大幅に下回っている。 ・中長期の取組が必要であるが、無作為抽出による区民アンケートなどで、サイレントマジョリティなど区民の意見・ニーズを把握し、施策に反映していく。
	②	・区政会議については、ユーストリーム配信を行ったほか、各事業でツイッターやフェイスブックなど、SNSによる双方向コミュニケーションの活性化を図り、若い世代など幅広い区民の意見やニーズの把握に努めた。 ・広報誌、ホームページなどで、行政サービスや地域活動などの情報をタイムリーに分かりやすく提供できるよう努めた。	A	b	12.1%	15.1%	②	

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

【取組の実施状況】 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

【成果目標の達成状況】 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2 (3)イ 各地域の実情に応じたきめ細かな支援体制の構築 【目標(A)】地域活動をしている人のうち、区役所が中間支援組織と連携して各地域の実情に応じた一体的・総合的な支援を行っていると感じている人の割合 平成26年度までに全区で80%以上	①	・地域担当制による市政・区政の情報発信、及び各地域の課題・実情把握	A				48.6%	60.8%	②	・地域担当制で取得した情報と、中間支援組織の持つ情報を、区役所内で十分活用できていない。 ・区役所及び中間支援組織双方で、地域情報を迅速に共有し、活用できる体制を構築していく。
	②	・中間支援組織の紹介 ・中間支援組織と連携し、まちづくり支援員（ファシリテーション人材）を派遣 ・地域公共人材の意義、役割等の説明および啓発 ・区ホームページに地域活動協議会ページを開設、活動内容等を情報発信、コンテンツをリニューアル ・中間支援組織と連携し、地域の若い担い手対象の講演会・ワークショップを開催	A							
2 (4) 区民の安全・安心を担う総合拠点としての区役所づくり 【目標(A)】 a. 日常生活に関するさまざまな相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上 【目標(A)】 b. 区役所で、防災など危機事象ごとの計画やマニュアルが作成されていることを知っている区民の割合 平成26年度までに全区で80%以上	①	・市民の声、問合せ相談などに迅速対応、効率的な関係局との調整 ・未利用地の活用をはじめ、住民意見を反映したものとなるよう関係局と調整	A	a	73.1%	91.4%			①	・実績数値は目標に向けて、着実に推移してきたが目標達成には及ばなかった。 ・市民防災マニュアルの全戸配布を行うなど一定の情報提供を行ったが、災害時の行動マニュアルであるという認知度の向上が課題。 ・迅速な対応はもとより、より一層適正かつ効率的で丁寧な対応を進めていく。 ・引き続き広報誌・ホームページ等で情報発信を行うとともに、講座・訓練においても計画・マニュアルの認知度を高める取組を行う。
	②	・防災意識向上のための出前講座を実施し、防災計画等を周知 ・全地域においてマニュアルに応じた実働型防災訓練を実施 ・市民防災マニュアル・ハザードマップを全戸配布 ・広報誌に防災コラム記事を連載、防災特集を掲載 ・区ホームページのトップに「災害に備える」ボタンを作成 ・地域防災訓練等の様子をフェイスブックやホームページにおいて公開	A	b	37.4%	46.8%			②	

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。
【達成率】 実績値を目標値で除して算出。
【評価区分の凡例】
〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
3(9)ア 改革を担う職員づくり 【目標(A)】仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合 平成26年度までに90%以上	①	<ul style="list-style-type: none"> 区長から全職員に職場改善提案の募集及び実施PTの設置・実行 元気アップ運動による職場改善の検討と実現 	A	83.9%	93.2%	①	<ul style="list-style-type: none"> 市民志向の向上と風通しの良い職場環境の維持のために、継続的な取組が必要。 更なる職員スキルの向上を目指し、各種研修等に取り組み、改革を担う職員の自己実現を促す。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 市民志向意識の醸成を目指し、地域ボランティア・社会貢献活動を促進 風通しの良い職場風土づくりの取組を実施 	A				
	③	<ul style="list-style-type: none"> 都島区が主催し、他所属職員の参加を求めた「発達障がい研修」「LGBT研修」「情報発信研修」を実施 	A				
3(9)イ 改革を支える人材マネジメントの推進 【目標(A)】効果・効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合 平成26年度までに80%以上	①	<ul style="list-style-type: none"> 職員の主体性を促すため「区長感謝状」「区長表彰制度」を設置 区長と職員が対話する「区長としゃべランチ」を実施 	A	83.9%	104.9%	①	<ul style="list-style-type: none"> 職員の士気を維持・向上させるために、継続的な取組が必要。 組織パフォーマンス向上につながる取組を進めていく。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 職員の士気やパフォーマンスの向上を図る区長表彰制度を実施 	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。
 【達成率】 実績値を目標値で除して算出。
 【評価区分の凡例】
 [取組の実施状況] A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
 [成果目標の達成状況] ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった